

大腸癌研究会プロジェクト研究

「腹腔鏡下直腸癌手術に関する研究」議事録

2012年1月19日(木)14:00-16:00 栃木県総合文化センター

1. 「Clinical Stage 0-I 直腸がんに対する腹腔鏡下手術の妥当性に関する第 II 相試験」

経肛門的ドレナージチューブ意義に関する研究を行うため、CRF に新たに項目を加えるか否かを検討した。その結果、以下の件が承認された。

- ・「ドレナージチューブを留置・非留置」また「留置した場合の抜去時期」を次の CRF に追加する。
- ・大腸癌研究会プロジェクト研究「低位前方切除における Diverting Stoma 造設基準に関する研究」と合同でデータの解析を行い、Stage 0-I 以外の Stage についても同じ研究を行う。

2. 「Stage IV 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義」

・京都大学 肥田侯矢より Ann Surg に accept された「Open versus Laparoscopic Resection of Primary Tumor for Incurable Stage IV Colorectal Cancer: A Large Multicenter Consecutive Patients.」の論文内容の紹介をした。

・「A multicentre study of short- and long-term outcomes of laparoscopic palliative resection for incurable, symptomatic stage IV colorectal cancer in Japan.」を大分大学の猪股雅史より Surg Endosc に投稿したことが報告された。

・その他は下記が報告された。

大腸がん stage4 症例における術後 CRP (白血球数) に関与する因子の解析および術後 CRP と長期予後との相関 (国立がん研究センター東病院 伊藤雅昭/投稿準備中)

StageIV 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の開腹移行の因子と予後に与える影響 (慶應義塾大学 長谷川博俊/投稿準備中)

StageIV 症例の術後合併症関連因子および予後の解析 (癌研有明病院 福長洋介/解析中)

StageIV 大腸癌に対する施設別治療成績の較差 (京都大学 吉村健一/解析中)

3. 「高齢者における腹腔鏡下大腸切除術の有効性と安全性に関する後向き調査」

・広島大学 檜井孝夫より「Laparoscopic surgery versus open surgery for colon and rectal cancer in elderly patients: propensity score matching analysis.」の解析結果が報告された。

4. 「横行結腸癌、下行結腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術の後向き試験」

埼玉医科大学国際医療センター 田代浄より、本研究の CRF 回収がほぼ終了したとの報告があった。次回7月のミーティングでの結果報告を目標とする。

5. 「腹腔鏡下 ISR の有効性と安全性に関する臨床研究」

国立がん研究センター東病院 伊藤雅昭より提出された CRF 案の内容について検討した。詳細を加筆・修正した CRF を会員に再度確認の上、4月までに完成させ7月までに倫理委員会を通せるよう準備を進めることとした。

以上